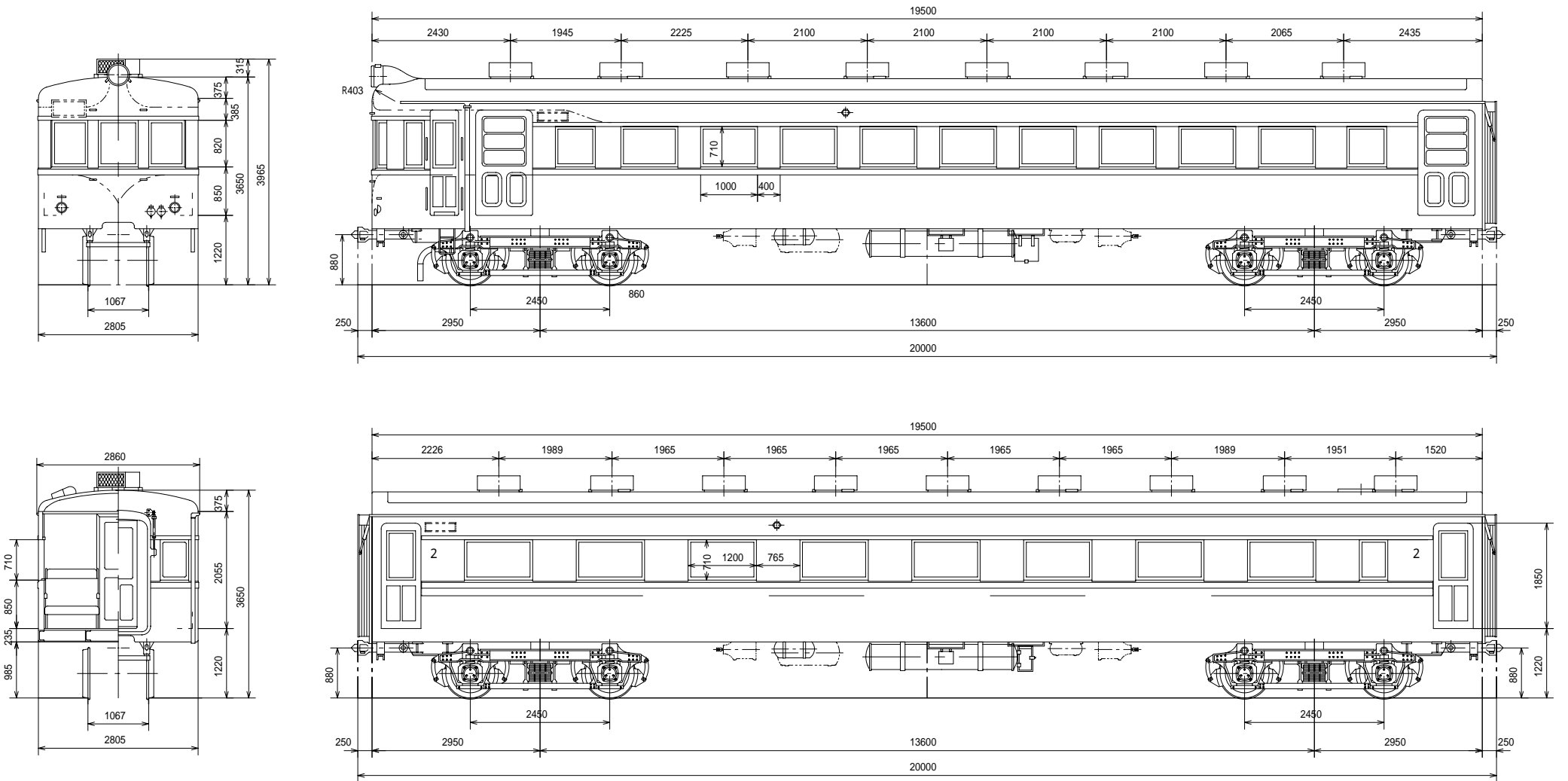


第一次湘南型電車 国鉄 クハ86型、サロ85型 形式図



1950年に登場した、従来になかった新しい様式の国電
 湘南電車と呼ばれ、それまで電気機関車が牽引していた区間運転の
 客車列車に代わって、東海道線に続々と就役
 モハ52や42系が長距離用として設計された時代とは、電車運転の
 区間を延長したばかりではなく編成輻数も16輻にまでなり、一族
 合計650輻、まるで桁が違ってきたわけである
 湘南型はモハ80を中心に、クハ86、サロ85、サハ87、モユニ81から
 構成されるが、まず1950年第一次型として現れた中からクハ86と
 サロ85の図を示す
 台車はTR43, 43A